

ルティ・デベロップメント、ソフトウェアの適正管理についての相談も受けた。

### 5-3 情報関連補助金のWebサイトの運営

教員全員に補助金の存在を周知徹底し、教育改善のための教育努力を喚起するため、18年度も本協会のWebサイトに「私立大学の情報化関連補助金の留意点」とした情報を文部科学省の協力を得て掲載した。文部科学省のホームページと接続し、随時最新の補助金情報を掲載している。随時更新し、情報関連補助金のガイドとして活用されることを期待する。また、補助金の活用を個々の大学で一層積極化するため、補助金申請への取り組みについて、補助金情報の公開と周知、教員ニーズの把握、補助金戦略会議への取り組みを大学に呼び掛けた。

### 5-4 研究会、研修会等のオンデマンド配信

教育改善のための教育方法、教材開発、教育支援へのIT活用に関する様々な会議、発表会等を開催しているが、日程、費用の面で参加できない大学のために、フォーラム、研究会、大会などで講演、発表した著作権処理済みのコンテンツを学系分野別に整理し、大学でのファカルティ・デベロップメントの研究に役立てられるようオンデマンド配信を実施している。VTRにプレゼンテーションのスライドを同期させたコンテンツおよびレジュメで、質疑応答、討議、本協会の活動紹介、補助金説明などは除いている。

コンテンツは、17年度223件、18年度216件の439件とした。

コンテンツの使用環境は、Producer for PowerPoint2003で作成しているが、PowerPointがインストールされている必要はない。

18年度分の配信分担金は、正会員3,150円から5,250円、賛助会員4,200円、18年度と17年度分は正会員34,650円から57,750円の範囲で、加盟校の教職員、賛助会員を対象に利用人数無制限でストリーミング方式で配信することにした。賛助会員は一律1社46,200円とした。

参加申し込みは、随時可能でポータルサイトから行う。なお、ポータルサイトおよびコンテンツのイメージを次頁に掲載する。